

## 「第6回 徳島県流域コウノトリ・ツルの舞う生態系ネットワーク推進協議会」が開催されました

徳島県は、野生復帰の拠点となっている兵庫県豊岡市周辺以外では全国で初めて、コウノトリが野外繁殖に成功した県です。また、大陸から飛来・越冬するツル類の数が増加していることから、全国的・国際的に重要な生態系ネットワークの拠点として、注目が高まっています。

こうした背景から平成29年10月に、吉野川流域における河川を軸とした生態系ネットワーク形成の実現化に向けて、多様な主体との連携・協働方策等を検討するため、「吉野川流域コウノトリ・ツルの舞う生態系ネットワーク推進協議会」を設立しました。現在、コウノトリ・ツル類は徳島県内の各流域で飛来が確認されるようになってきていることから、令和3年1月からは協議会を発展移行させ、徳島県全域を対象とした「徳島県流域コウノトリ・ツルの舞う生態系ネットワーク推進協議会」を設立しています。今回は、「第6回徳島県流域コウノトリ・ツルの舞う生態系ネットワーク推進協議会」を開催しました。



- 1.開催日時：令和8年2月6日（金）15：00～17：00
- 2.参加者：協議会構成員及び徳島県内の経済・観光等の有識者
- 3.開催場所：あわぎんホール 5階小ホール
- 4.議 事：

- (1) 規約について
- (2) 徳島県流域コウノトリ・ツル類の舞う生態系ネットワークの取組状況について
- (3) 短期目標に対する取組の進捗及び課題と今後の取組について



今年度の取組状況について各事務局、市町、団体より報告を行い、構成員の皆様より、コウノトリを軸とした湿地環境の創出と観光の両立や、現在のペアの繁殖状況等について情報提供をいただきました。

また、「徳島県流域コウノトリ・ツルの舞う生態系ネットワーク全体構想」において策定された短期目標（～2025年）は概ね達成されているという評価で合意しました。一方で「複数ペアの繁殖に至っていない要因の分析が必要」、「地域への浸透が不十分であるため、情報発信を重要な課題として捉え、若い世代の現代的な視点での情報発信が必要」との意見をいただきました。今後は2030年の中期目標達成に向け、協議会構成員と連携し、さらなる取り組みの継続・拡大・活性化を図ってまいります。